

株 主 の 皆 様 へ

第50期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

the *50* <sup>th</sup> term

# *Interim Report*



取締役社長

山 田 豊

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第50期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の事業の概況をご報告させていただきます。

## 事業環境

当上半期の日本経済においては、製造業を中心とした企業収益の改善、輸出や設備投資の増加など、一部明るさが見られましたものの、景気先行きの不安感は強く、経済情勢はまだまだ楽観できない状況と言えます。また世界経済は、米国やアジア地域において生産や設備投資の増加が見られ回復局面が続く一方、原油高による原材料の高騰や中近東における地政学的リスクなど国際政治経済に対する懸念要因がありました。プラント市場におきましても、依然として熾烈な競争が続き、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

## 事業展開

このような経営環境の中、当社は本年5月より経営体制を刷新し、直ちに対処すべき課題として、収支目標の達成および来期以降の持続的な成長の実現を掲げました。

まず、収支目標の達成のために、現行のプロジェクト管理システムを徹底的に機能させるとともに、社内体制の見直しを行いました。従来の効率優先型組織から並列型組織に改編し、部門機能を充実させ、責任を明確化し、部門間牽制を強化することにより損失コストの発生防止を図るリスクマネジメントに取り組みました。

また、持続的成長の実現のために、注力商品分野の見直しや事業構造の改革に取り組み、エネルギー関連を当面の最重点分野とし、石油化学・化学肥料ではオレフィン・コンバージョン・テクノロジー（OCT）や、省エネルギー尿素プラントなどの差別化商品の営業強化を図りました。国内では、石油化学案件を中心に営業活動に注力するとともに、中国等海外進出案件、R&Dエンジニアリング、eソリューションなど本邦企業の構造改革の事業展開に対応した提案型ビジネスを推進しました。

## 受注実績

こうした事業展開を行った結果、受注につきましては、海外ではブラジル石油公社向け天然ガスパイプライン建設工事や、イラン向けアンモニア製造プラントなどの受注を獲得するにいたりました。国内では、東ソー株式会社向け塩化ビニールモノマー

製造プラントなどを成約するにいたりました。その結果、当上半期の当社単独の受注高は、大型プロジェクトを受注した前年同期に比べ減少はしておりますものの、概ね期初の予想どおり順調に推移し、国内281億円（前年同期比139.3%増）、海外686億円（前年同期比55.7%減）、合計967億円（前年同期比42.0%減）となりました。また、連結の受注高は、1,120億円（前年同期比37.9%減）となりました。

## 当上半期の業績

当上半期における当社単独の業績につきましては、売上高784億円（前年同期比2.5%減）を計上し、営業利益11億円（前年同期は営業損失17億円）、経常利益12億円（前年同期は経常損失16億円）、中間純利益10億円（前年同期は中間純損失19億円）を計上いたしました。

連結の業績につきましては、売上高888億円（前年同期比7.3%減）を計上し、営業利益13億円（前年同期は営業損失11億円）、経常利益12億円（前年同期は経常損失13億円）、中間純利益11億円（前年同期は中間純損失20億円）を計上するにいたっております。

中間配当につきましては、引き続き見送りとさせていただきますことを株主の皆様にご挨拶申し上げます。

## 下半期の課題

下半期につきましては、国内および海外ともに経済情勢は上期と同様に推移すると思われま。総合エンジニアリング業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありますが、海外においてはエネルギー分野や石油・石油化学分野で有望案件が見込まれ、また、国内においても設備投資の復調に応じた受注増が期待されます。

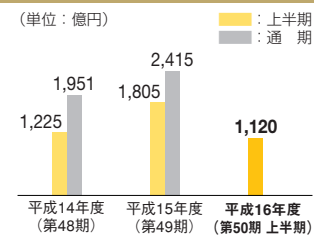
このような経営環境の下、昨年4月からの中期経営計画を引き続き着実に推進していくとともに、本年5月からの新体制においては、商品、サービスなどのニーズの変化に即応し、エンジニアリングのレベルや商品をさらに進化・差別化させる「**進化するエンジニアリング**」を追求し、マーケットが必要とするサービスを提供し続ける会社として、収益体質の向上と安定化に向けた変革を加速させるべく努めて参ります。

### (1) 「EPCソリューション型」事業分野の展開

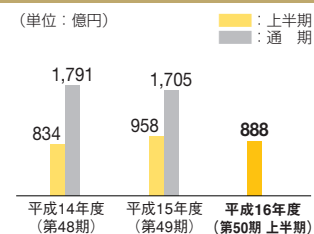
#### 【注力商品分野】

エネルギー分野を当面の最重点分野とし、液化天然ガス（LNG）を含むガス処理分野や資源開発分野、発電プロジェクトなどに注力して参ります。石油化学・化学

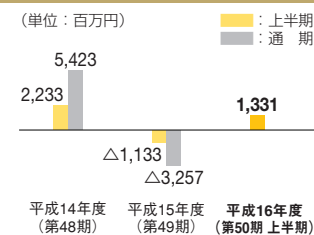
### 新規受注高（連結）



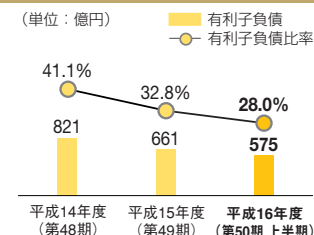
### 売上高（連結）



### 営業利益（連結）



### 有利子負債の推移（連結）



肥料分野では、自社技術を活かした差別化商品の営業強化を図ります。さらに、ジメチルエーテル（DME）やガス・ツー・リキッド（GTL）などの新エネルギー分野のプロジェクトにも積極的に取り組んで参ります。環境分野では、既存設備の近代化プロジェクトや個別の環境設備、商品の開拓に取り組んで参ります。

#### [受注戦略の明確化]

顧客と継続的な関係を結ぶ“顧客アライアンス”を推進し、プロジェクトリスク要因の軽減化と適正価格での確実な受注を図って参ります。また、他社とのアライアンスなど協調を通じて、受注力とプロジェクト対応力の強化を図ります。

#### [技術オリエンテッドの提案型ビジネス]

当社の強みである技術を発展させて商業化させていく、技術オリエンテッドの提案型ビジネスを積極的に推進して参ります。具体的には、自社保有技術である新尿素プロセスACES 21<sup>®</sup>や大粒尿素の改良・大型化への対応や、大規模合成ガス製造技術を利用したジメチルエーテル（DME）、Syn Gas製造技術、水素、大型メタノール、重質油改質、プロピレン増産技術（オレフィン・コンバージョン・テクノロジー：OCT）や、エチレン関係の新技術などを核にし、当社の提案力を活かしたビジネス展開を図って参ります。

#### [トータルライフ・ソリューションの提供]

顧客設備の保守、生産性の維持向上に取り組むO&M（オペレーション&メンテナンス）分野において、業務分析や設備診断サービス、さらに業務改革やITの有効活用、設備投資に関する提案、その後の実行支援、実施請負までを含む統合サービス（Integrated Service）を展開して参ります。

### (2) [eソリューション型] 事業分野の展開

当社のプラントビジネスで培った技術力、海外対応力、プロジェクトマネージメント能力をITと結合させ、生産系・物流系システム（設備を含む）への知見と実績を活かし、機能戦略レベルのコンサルティングとそれに基づくソリューションを提供していくことによって、様々な領域での新しい事業の構築を図って参ります。この分野では、子会社である東洋ビジネスエンジニアリング株式会社との連携による事業展開を図って参ります。

当社は、以上のような事業活動に邁進するとともに、過去において未知の市場、国際紛争、現地経済の混乱、為替変動などによって生じた収益低下の教訓を活かし、安定的な収益の確保に向けた取り組みを一層加速して参ります。また、キャッシュ・フローを重視した経営をさらに徹底することにより、財務体質の一層の強化を図って参ります。これらの努力により、経営安定化を目指し株主の皆様の利益に貢献して参りたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

取締役社長

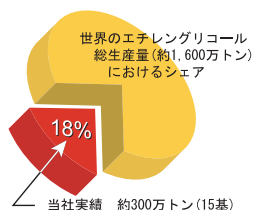
山田 豊

|    | 顧客名                   | 名称                        | 場所      | 役務範囲     |
|----|-----------------------|---------------------------|---------|----------|
| 受注 | イラン国営石油化学会社           | アンモニア製造プラント               | イラン     | 設計・調達    |
|    | ブラジル石油公社              | 天然ガスパイプライン                | ブラジル    | 設計・調達・工事 |
| 完成 | 東ソー株式会社               | 塩化ビニールモノマー製造プラント          | 日本      | 設計・調達・工事 |
|    | 大韓油化工業株式会社            | プロピレン製造プラント               | 韓国      | 設計・調達・工事 |
|    | ジュベイル・ユナイテッド・ペトロケミカル社 | エチレンオキサイド・エチレングリコール製造プラント | サウジアラビア | 設計・調達・工事 |
|    | ハイビス社                 | 特殊ビスフェノール製造プラント           | ドイツ     | 設計・調達・工事 |
|    | 三井化学株式会社              | プロピレン製造プラント               | 日本      | 設計・調達・工事 |
|    | 和光純薬工業株式会社            | 医薬原薬マルチパーパスプラント           | 日本      | 設計・調達・工事 |

## T O P I C S トピックス

### サウジアラビアEO・EGプロジェクトを 短納期および無事故・無災害で完成

平成16年9月、当社がサウジアラビア東海岸のアルジュベールで、ジュベイル・ユナイテッド・ペトロケミカル社向けに建設していた世界最大規模の年産63万トン（EG換算）エチレンオキサイド（EO）・エチレングリコール（EG）製造プラントは、契約調印から28ヵ月という短納期にて契約どおり完成するとともに、その後わずか11日でのプラント・スタートアップも達成いたしました。これは顧客・当社・サブコンが一体となり、工事から運転まで途切れ無く、最短期間で業務を効率的に進めた成果であり、一方安全面においても700万時間の無事故・無災害を達成しました。現在、当社は同顧客向けに同規模のEO・EG製造プラント2号基も受注し、平成18年の完成を目指して順調にプロジェクトを遂行しております。当社のEO・EG製造プラントの実績は、世界のエチレングリコールの総生産量の約18%のシェアを占めております。



### 国内初のOCTプラント完成、 韓国向け初のOCTプラント受注

平成16年9月、国内初のオレフィン・コンバージョン・テクノロジー（OCT）（ABBルーマスグローバル社ライセンス）を適用したプロピレン製造プラントが、三井化学(株)大阪工場向けに予定どおり完工いたしました。また9月17日に開催された竣工式では、同社より無事故・無災害でプロジェクトを完成したことへの感謝状が贈呈されました。本プロジェクトは、エチレンプラントからのブテンとエチレンを原料とした年産14万5千トンのプロピレンを増産するプラントの建設で、当社はライセンスを含む設計・調達・工事を実施しました。また平成16年8月に当社は、韓国の現地法人トーヨー・コーリアと共同で、韓国・温山の韓油化工業(株)よりオレフィン・コンバージョン・テクノロジー（OCT）を適用した年産11万トンのプロピレン製造プラントを受注しました。当社とトーヨー・コーリアは、設計、調達、工事を実施し、プラントは平成17年末の運転開始を予定しています。



三井化学(株)向け  
「プロピレン製造プラント」

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目                     | 前中間期<br>(平成15年9月30日現在) | 当中間期<br>(平成16年9月30日現在) | 前事業年度<br>(平成16年3月31日現在) |
|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| (資産の部)                  |                        |                        |                         |
| <b>流動資産</b>             | <b>153,069</b>         | <b>155,317</b>         | <b>149,352</b>          |
| 現金預金                    | 46,613                 | 42,505                 | 44,097                  |
| 受取手形・完成工事未収入金等          | 49,520                 | 38,923                 | 37,246                  |
| 有価証券                    | 0                      | —                      | —                       |
| 未成工事支出金                 | 48,133                 | 67,513                 | 62,659                  |
| 繰延税金資産                  | 2,722                  | 1,516                  | 1,135                   |
| その他流動資産                 | 7,206                  | 6,976                  | 6,328                   |
| 貸倒引当金                   | △1,127                 | △2,119                 | △2,116                  |
| <b>固定資産</b>             | <b>53,224</b>          | <b>50,209</b>          | <b>51,780</b>           |
| 有形固定資産                  | 33,401                 | 32,967                 | 33,206                  |
| 無形固定資産                  | 1,389                  | 1,892                  | 1,699                   |
| 投資その他の資産                | 18,432                 | 15,349                 | 16,875                  |
| <b>資産合計</b>             | <b>206,293</b>         | <b>205,527</b>         | <b>201,133</b>          |
| (負債の部)                  |                        |                        |                         |
| <b>流動負債</b>             | <b>126,926</b>         | <b>135,548</b>         | <b>129,567</b>          |
| 支払手形・工事未払金等             | 37,126                 | 37,284                 | 30,147                  |
| 短期借入金                   | 32,996                 | 19,641                 | 26,470                  |
| 未成工事受入金                 | 44,366                 | 69,361                 | 61,915                  |
| その他流動負債                 | 12,436                 | 9,261                  | 11,034                  |
| <b>固定負債</b>             | <b>48,569</b>          | <b>42,936</b>          | <b>44,971</b>           |
| 社債                      | —                      | 3,000                  | 1,000                   |
| 長期借入金                   | 43,303                 | 34,956                 | 38,690                  |
| その他固定負債                 | 5,265                  | 4,980                  | 5,281                   |
| <b>負債合計</b>             | <b>175,495</b>         | <b>178,484</b>         | <b>174,539</b>          |
| (少数株主持分)                |                        |                        |                         |
| <b>少数株主持分</b>           | <b>1,846</b>           | <b>1,630</b>           | <b>1,869</b>            |
| (資本の部)                  |                        |                        |                         |
| <b>資本金</b>              | <b>13,017</b>          | <b>13,017</b>          | <b>13,017</b>           |
| <b>資本剰余金</b>            | <b>15,592</b>          | <b>15,593</b>          | <b>15,593</b>           |
| <b>利益剰余金</b>            | <b>211</b>             | <b>△3,117</b>          | <b>△4,278</b>           |
| <b>その他有価証券評価差額金</b>     | <b>739</b>             | <b>709</b>             | <b>1,231</b>            |
| <b>為替換算調整勘定</b>         | <b>△580</b>            | <b>△749</b>            | <b>△804</b>             |
| <b>自己株式</b>             | <b>△30</b>             | <b>△41</b>             | <b>△35</b>              |
| <b>資本合計</b>             | <b>28,951</b>          | <b>25,411</b>          | <b>24,724</b>           |
| <b>負債、少数株主持分および資本合計</b> | <b>206,293</b>         | <b>205,527</b>         | <b>201,133</b>          |

現金預金

当中間期の現金預金残高425億円は、ジョイントベンチャー資金112億円を含んでおります。

有利子負債

当中間期も計画どおりに有利子負債の圧縮を進めた結果、連結有利子負債の残高は当中間期末において575億円となり、前期末に比べ85億円減少しました。

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目                           | 前中間期<br>(平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで) | 当中間期<br>(平成16年4月1日から<br>平成16年9月30日まで) | 前事業年度<br>(平成15年4月1日から<br>平成16年3月31日まで) |
|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| (経常損益の部)                      |                                       |                                       |  |
| <b>完成工事高</b>                  | 95,811                                | 88,852                                | 170,529                                |
| 完成工事原価                        | 91,428                                | 81,831                                | 161,889                                |
| <b>完成工事総利益</b>                | <b>4,383</b>                          | <b>7,021</b>                          | <b>8,639</b>                           |
| 販売費および一般管理費                   | 5,517                                 | 5,690                                 | 11,897                                 |
| <b>営業利益 (△は損失)</b>            | <b>△1,133</b>                         | <b>1,331</b>                          | <b>△3,257</b>                          |
| 営業外収益                         | 939                                   | 787                                   | 1,979                                  |
| 営業外費用                         | 1,108                                 | 863                                   | 2,198                                  |
| <b>経常利益 (△は損失)</b>            | <b>△1,302</b>                         | <b>1,254</b>                          | <b>△3,476</b>                          |
| (特別損益の部)                      |                                       |                                       |  |
| 特別利益                          | —                                     | 247                                   | 378                                    |
| 特別損失                          | 354                                   | 224                                   | 615                                    |
| <b>税金等調整前中間(当期)純利益 (△は損失)</b> | <b>△1,657</b>                         | <b>1,278</b>                          | <b>△3,713</b>                          |
| 法人税、住民税および事業税                 | 435                                   | 403                                   | 712                                    |
| 法人税等調整額                       | △133                                  | △83                                   | 1,882                                  |
| 少数株主利益 (△は損失)                 | 43                                    | △205                                  | 182                                    |
| <b>中間(当期)純利益 (△は損失)</b>       | <b>△2,001</b>                         | <b>1,163</b>                          | <b>△6,491</b>                          |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 完成工事高

当中間期の完成工事高は、前年同期比7.3%減ではありますが、期初見込み(800億円)からは11.1%増の888億円となりました。

### 中間純利益

当中間期は、期初見込み(10億円)とほぼ同じレベルの11億円の中間純利益を計上しました。

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

| 科 目             | 前中間期<br>(平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで) | 当中間期<br>(平成16年4月1日から<br>平成16年9月30日まで) | 前事業年度<br>(平成15年4月1日から<br>平成16年3月31日まで) |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| (資本剰余金の部)       |                                       |                                       |  |
| 資本剰余金期首残高       | 15,592                                | 15,593                                | 15,592                                 |
| 資本剰余金増加高        | 0                                     | 0                                     | 0                                      |
| 資本剰余金中間期末(期末)残高 | 15,592                                | 15,593                                | 15,593                                 |
| (利益剰余金の部)       |                                       |                                       |  |
| 利益剰余金期首残高       | 2,216                                 | △4,278                                | 2,216                                  |
| 利益剰余金増加高        | —                                     | 1,163                                 | —                                      |
| 中間純利益           | —                                     | 1,163                                 | —                                      |
| 利益剰余金減少高        | 2,004                                 | 3                                     | 6,494                                  |
| 中間(当期)純損失       | 2,001                                 | —                                     | 6,491                                  |
| 役員賞与            | 3                                     | 3                                     | 3                                      |
| 利益剰余金中間期末(期末)残高 | 211                                   | △3,117                                | △4,278                                 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目                  | 前中間期<br>(平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで) | 当中間期<br>(平成16年4月1日から<br>平成16年9月30日まで) | 前事業年度<br>(平成15年4月1日から<br>平成16年3月31日まで) |
|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| ● 営業活動によるキャッシュ・フロー   | 10,124                                | 7,216                                 | 17,577                                 |
| ● 投資活動によるキャッシュ・フロー   | △1,055                                | 36                                    | △595                                   |
| ● 財務活動によるキャッシュ・フロー   | △5,710                                | △8,738                                | △15,706                                |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | △124                                  | 20                                    | △191                                   |
| 現金及び現金同等物の増減額        | 3,232                                 | △1,465                                | 1,084                                  |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 42,530                                | 43,615                                | 42,530                                 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 45,763                                | 42,149                                | 43,615                                 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は、未成工事受入金の増加などが寄与し、72億円の資金増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間期も債務圧縮計画に基づく有利子負債の返済を実施したことにより、87億円の資金減少となりました。



## 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目            | 前中間期<br>(平成15年9月30日現在) | 当中間期<br>(平成16年9月30日現在) | 前事業年度<br>(平成16年3月31日現在) |
|----------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| (資産の部)         |                        |                        |                         |
| <b>流動資産</b>    | 133,332                | 135,800                | 130,088                 |
| <b>固定資産</b>    | 46,372                 | 43,875                 | 45,536                  |
| 有形固定資産         | 20,579                 | 20,198                 | 20,401                  |
| 無形固定資産         | 418                    | 633                    | 591                     |
| 投資その他の資産       | 25,374                 | 23,043                 | 24,544                  |
| <b>資産合計</b>    | 179,705                | 179,676                | 175,624                 |
| (負債の部)         |                        |                        |                         |
| <b>流動負債</b>    | 110,616                | 118,568                | 113,628                 |
| <b>固定負債</b>    | 30,003                 | 25,485                 | 26,929                  |
| <b>負債合計</b>    | 140,620                | 144,054                | 140,557                 |
| (資本の部)         |                        |                        |                         |
| <b>資本金</b>     | 13,017                 | 13,017                 | 13,017                  |
| <b>資本剰余金</b>   | 15,592                 | 15,593                 | 15,593                  |
| <b>利益剰余金</b>   | 9,775                  | 6,355                  | 5,276                   |
| その他有価証券評価差額金   | 729                    | 697                    | 1,215                   |
| 自己株式           | △30                    | △41                    | △35                     |
| <b>資本合計</b>    | 39,085                 | 35,622                 | 35,067                  |
| <b>負債・資本合計</b> | 179,705                | 179,676                | 175,624                 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目                            | 前中間期<br>(平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで) | 当中間期<br>(平成16年4月1日から<br>平成16年9月30日まで) | 前事業年度<br>(平成15年4月1日から<br>平成16年3月31日まで) |
|--------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| (経常損益の部)                       |                                       |                                       |  |
| <b>完成工事高</b>                   | 80,480                                | 78,478                                | 142,902                                |
| 完成工事原価                         | 79,070                                | 73,801                                | 140,594                                |
| <b>完成工事総利益</b>                 | 1,410                                 | 4,677                                 | 2,308                                  |
| 販売費および一般管理費                    | 3,125                                 | 3,537                                 | 7,089                                  |
| <b>営業利益 (△は損失)</b>             | △1,715                                | 1,139                                 | △4,781                                 |
| 営業外収益                          | 960                                   | 767                                   | 1,915                                  |
| 営業外費用                          | 860                                   | 684                                   | 1,705                                  |
| <b>経常利益 (△は損失)</b>             | △1,614                                | 1,222                                 | △4,571                                 |
| (特別損益の部)                       |                                       |                                       |  |
| 特別利益                           | —                                     | 247                                   | 378                                    |
| 特別損失                           | 344                                   | 343                                   | 603                                    |
| <b>税引前中間 (当期) 純利益 (△は損失)</b>   | △1,959                                | 1,126                                 | △4,796                                 |
| 法人税、住民税および事業税                  | 336                                   | 112                                   | 192                                    |
| 法人税等調整額                        | △338                                  | △65                                   | 1,465                                  |
| <b>中間 (当期) 純利益 (△は損失)</b>      | △1,956                                | 1,079                                 | △6,455                                 |
| <b>前期繰越利益</b>                  | 116                                   | 1,043                                 | 116                                    |
| <b>利益準備金取崩額</b>                | 1,771                                 | —                                     | 1,771                                  |
| <b>中間 (当期) 未処分利益 (△は未処理損失)</b> | △68                                   | 2,122                                 | △4,567                                 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

(平成16年9月30日現在)

- 商号 東洋エンジニアリング株式会社
- 証券コード 6330
- 創業 昭和36年5月1日
- 資本金 13,017,678,851円
- 従業員数 985名

### 営業品目

- 各種産業プラントの研究・開発協力、企画、設計、機器調達、建設、試運転、技術指導：  
一般化学、石油化学、石油精製、天然ガス、電力、原子力、高度生産システム、物流、医薬、バイオ、環境その他
- システムエンジニアリングその他ソフトウェアの取得、開発および販売
- 各種装置の設計・据付
- 諸工事

### 事業所

#### 本社・総合エンジニアリングセンター

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2丁目8番1号  
TEL 047-454-1503 FAX 047-454-1802

#### 東京本社（本店）

〒100-6007 東京都千代田区霞が関3丁目2番5号  
TEL 03-3592-7411 FAX 03-3593-0749

#### 関西支店

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号  
TEL 06-6390-1101 FAX 06-6390-1201

#### 技術研究所

〒297-0017 千葉県茂原市東郷字富士見1818番地  
TEL 0475-24-4551 FAX 0475-22-1338

#### 海外事務所

北京、上海、ジャカルタ、モスクワ、テヘラン

## 役員紹介

(平成16年9月30日現在)

|                 |        |               |        |
|-----------------|--------|---------------|--------|
| 代表取締役<br>取締役社長  | 山田 豊   | 取締役<br>常務執行役員 | 副島 憲二  |
| 代表取締役<br>取締役副社長 | 丸川 和久  | 取締役<br>常務執行役員 | 西原 一臣  |
| 代表取締役<br>専務執行役員 | 緒方 義孝  | 取締役<br>常務執行役員 | 総山 誠   |
| 代表取締役<br>専務執行役員 | 村地 卓一  | 常任監査役（常勤）     | 小楽崎 正義 |
| 取締役<br>常務執行役員   | 須田 桂二  | 監査役（常勤）       | 蒲生 邦道  |
| 取締役<br>常務執行役員   | 津矢田 邦明 | 監査役（社外監査役）    | 子安 龍太郎 |
| 取締役<br>常務執行役員   | 西郷 尚史  | 監査役（社外監査役）    | 加藤 輝岳  |

（上記取締役は執行役員を兼務しております。）

|        |       |      |            |
|--------|-------|------|------------|
| 常務執行役員 | 市川 勲  | 執行役員 | 溝口 義秋      |
| 常務執行役員 | 若月 健  | 執行役員 | 角 明親       |
| 常務執行役員 | 太田 宏明 | 執行役員 | アレクシユ・クマール |
| 執行役員   | 大倉 攻  | 執行役員 | 藤井 英嗣      |
| 執行役員   | 植木 秀司 | 執行役員 | 中尾 清       |
| 執行役員   | 鈴木 正博 | 執行役員 | 松本 桂一      |

# 株式の概況

(平成16年9月30日現在)

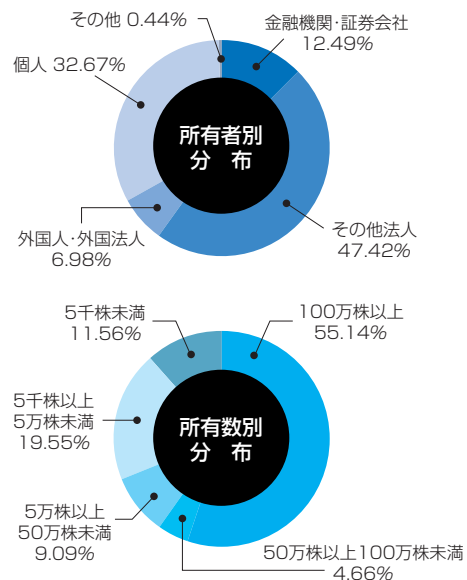
■ 発行済株式総数: 175,692,539株

■ 株主数: 18,390名

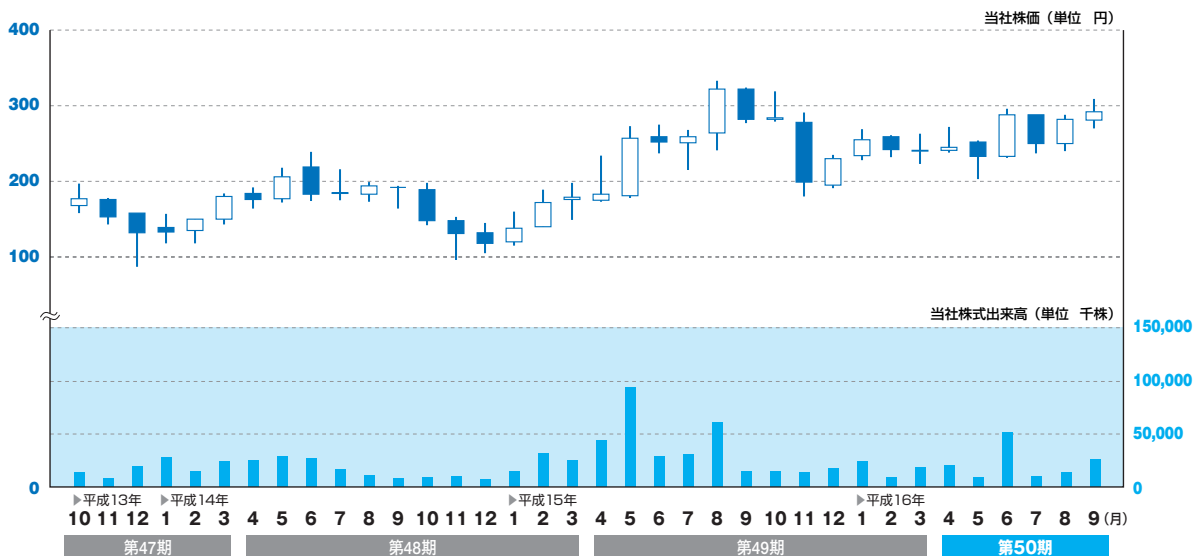
■ 大株主一覧

| 株主名   | 持株数(千株) | 議決権比率(%) |
|---|---------|----------|
| 三井化学株式会社  | 43,343  | 25.01    |
| 三井物産株式会社  | 26,670  | 15.39    |
| 大成建設株式会社  | 4,000   | 2.30     |
| 関東天然瓦斯開発株式会社  | 3,956   | 2.28     |
| ゴールドマン・サックス・インターナショナル                               | 3,367   | 1.94     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                             | 2,607   | 1.50     |
| 株式会社三井住友銀行  | 2,350   | 1.35     |
| 株式会社タイセイウエルフェア                                      | 2,000   | 1.15     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                           | 1,931   | 1.11     |
| バンク オブ バミューダ ガンジー スペシャル アカunt エクスクルーシブベネフィット クライアンツ | 1,200   | 0.69     |

■ 株主の分布状況



■ 株価と出来高推移(月足)



## ■ 株主メモ

|   |   |
|---|---|
| 決 算 期   | 毎年3月31日   |
| 定 時 株 主 総 会                                     | 毎年6月  |
| 株主配当金支払株主確定日                                    | 3月31日   |
| 中間配当金支払株主確定日                                    | 9月30日   |
| 基 準 日   | 定時株主総会については3月31日といたします。<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。                    |
| 名 義 書 換 代 理 人                                   | 中央三井信託銀行株式会社<br>東京都港区芝三丁目33番1号  |
| 同 事 務 取 扱 所<br>( 郵 便 物 送 付 先 )<br>( 電 話 照 会 先 ) | 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)<br>電話 03-3323-7111 (代表) |
| 同 取 次 所   | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店<br>日本証券代行株式会社 本店および全国各支店                               |
| 上 場 証 券 取 引 所                                   | 東京証券取引所   |
| 1 単 元 の 株 式 の 数                                 | 1,000株  |
| 公 告 掲 載 新 聞                                     | 日本経済新聞  |

### 【お知らせ】

■ 当社は「単元未満株式の買増制度」を導入しております。

お手続きなどの詳細につきましては名義書換代理人まで（電話03-3323-7111（代表））、  
また、保管振替制度ご利用の場合のお取扱いは、お取引証券会社までご照会ください。

■ 各用紙のご請求

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求など株式関係の手續に必要な各用紙の  
ご請求は名義書換代理人のフリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。

〔フリーダイヤル〕 0120-87-2031

〔ホームページ〕 [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

なお、単元未満株式買増請求に必要な用紙のご請求は上記の名義書換代理人のホームペー  
ジで受付しております。（フリーダイヤルでは受付しておりませんのでご注意ください。）